

第1回 情報推進常任委員会会議録

令和3年3月2日(火)

委員会議室

○会議日程

- 1 開会宣告(17時23分)
- 2 協議事項
 - (1) 今年度の子ども議会について
 - (2) 今年度の意見交換会の開催について
- 3 閉会宣告(17時42分)

○出席委員(8名)

委員	長	6番	吉原哲男
副委員	長	5番	無量谷隆
委員		1番	高橋秀明
委員		2番	佐藤忠志
委員		3番	斎賀弘孝
委員		4番	植村敦之
委員		7番	西澤裕之
委員		8番	高橋秀之

○議会事務局出席者

事務局	長	藤田秀紀
主事		満保希来

無量谷副委員長

では委員長に代わりまして、私が委員長来るまでの間進めていきたいと思います。

協議事項(1)今年度のこども議会について。

出前講座が実施や質問作成の手伝い、こども議会の当日を含む全体のスケジュールということで(1)を進めたいと思います。

局長、説明をお願いします。

(吉原委員長入室)

藤田事務局長

それでは(1)のこども議会についてということなのですが、私のほうで、担当の八鍬先生といろいろと電話で協議いたしまして、学校としての考え方の説明を受けました。

学校としては、今までは中学校2年生に出前講座やり、こども議会やるという流れで実施してきたんですけども、今後は、中学校3年生の公民の授業の一環として取り組みたいというようなことでございます。

こども議会の日程は、例年5月にやっておりましたけれども、その辺はちょっと学校のスケジュールが、また3年生になってから取り組むということで、修学旅行等もありますので、その辺がいろいろ変わってくると思います。具体的なその事業の日程については、まだ打合せはしておりません。今後、委員長と、一緒に学校側と協議していかなければならないというようなことございますが、例年の日程を説明させていただきますと、1番後ろのほうにですね、令和元年にこども議会をやったときの要綱を資料として添付しております。

今まででしたら、実は前年度の3月に前出講座ということで、幌延中学校については、前回の委員長であった西澤副議長が行って出前講座。問寒別については、斎賀まちづくり常任委員長が行って、学校で出前講座をやったという経緯があります。

来年度については、問寒別の生徒が3年生がいるかっていうのを確認していないんですけども。

(斎賀委員「1人」)

1人ということは、また幌延と同じような日程で進めなければならないと。いろんな要綱についても、幌延中学校と相談すると同時に、問寒別の学校と相談をしながら進めていかなきゃならないっていうことだと思います。

まず出発としては、まず議会活動とは、というようなことで、まず委員長の出前講座をやった上で、その次に町の疑問だとか、いろいろ感じたことを一般質問にするときに、学校の授業一貫として、議員さん方が皆で、一般質問作るのをお手伝いするために学校の授業時間に出向いて、生徒の一般質問作成のアドバイスをした後に、学校でのこども議会のリハーサルをする時も、議員の皆さんにお手伝いをいただいて、最終的に当日を迎えるというような流れでやっております。

参考として、その元年度にやった日程表も添付しておりますけれども、これでいきますと、2、3カ月前から動いていくというような形になりますので、来年度、学校はどのようなスケジュールで、このこども議会を入れているのかっていう事によっては、議会として動く日程、スケジュールが変わってくると。こういう全体のスケジュール感が決まればですね、あとは議員さんにこの日に手伝ってください。というような流れになるんですけども、出前

講座については、各委員長にお願いしてるっていう経緯もありますので、その辺もちょっと勉強していただいて、やっていただくのか。これは幌延町議会で大事な議員としての議会活動ではなくて、議員として町民にアピールしてる議員活動の一環ですから、なるべく主体としては、議員さんをお願いして、事務局は全くやらないっていうわけではなくて、ちゃんとしたサポートをしながら進めていくのがいいのではないかなというふうには考えておりますが、その辺についてちょっと確認っていうか、令和3年度にこども議会を、学校側はもうやるという想定でやっておりますので、議会側もそれに組み込んでいくっていう、確認を今回していただきたいというようなことでございます。

吉原委員長

したら、今年は学校が入ってくるやつは、5月頃がやれてたんだよね、今年は。
(植村委員「今まで」)

今までっていうか、今回。それまでは3月ごろだったんだけどね。
(植村委員「5月から始める」)

だからそれはどうなんのかな。もうちょっと、中学校と話し合っただけで決めていくのか。

高橋秀之委員

日時決めないと駄目じゃないかい。

吉原委員長

5月ごろと言ったと思ってな。今年は私は2年生でなくて、今度3年生だから。

西澤委員

先ほど事務局長の説明のあったとおり、まず中学校側と、こども議会をやるというところで、日程をまずどこにやるのかっていうところの調整を委員長と事務局長としていただいて、そこから準備をいつにするっていうのと、あと中学校側で授業のコマ数の確保があるので、そこで、大体、準備と一般質問の議員で皆で行くところと、大体決まってくると思うので、最初の段階で3月中には、1回中学校のほうに、委員長が行っていただかないと。予定がなかなか出来ないんで、そこをです。

吉原委員長

3月ぐらいから始めて、やっぱり4月、5月に。

西澤委員

ここで抜けてる、問寒別での出前講座が抜けてますけど、一応、斎賀委員には幌延のほうの出前講座は来なくていいよということで、問寒別お願いしますっていうことでお願いしているんですが、基本的には、情報常任委員長が両方のところに行って出前講座をするというのが、今までの流れではございました。そこには議長も行っていただいていたとは思いますが。

吉原委員長

幌延中学校と問寒別中学校は、みんなで一緒に行かなきゃならんべ。

斎賀委員

西澤君言ったみたく、両方の中学校で都合の良い日を早く決めちゃって、5月か6月だかわからんけど。

吉原委員長

3月ぐらいには聞くか。

斎賀委員

もう3月だからね。今聞いてかんと、3月の下旬になったら、春休み入っちゃうから。卒業式もあるから、忙しくない時期と言ったら、もう3月の20日前後になっちゃうんだって。そして、それを委員長が決めてくれればいいんだ。先生と相談して。

そして後は、さっき言った出前講座を情報委員長がやってって感じだわ。

藤田事務局長

じゃあ、3月議会が終わったら、早々と、問寒別中学校と幌延中学校の担当の先生方と打合せをして、まず、こども議会の日程をちょっと調整させていただいた上で、今後、出前講座ですとか、一般質問作のお手伝いとかっていう日程を逆算して決めていくってというような形で、委員長と事務局のほうにその日程調整をさしていただくってことでよろしいですかね。

(「はい」の声あり)

そういう感じで、よろしく願いいたします。

高橋秀明委員

1つよろしいですか。

こども議会が29年の例によると、5月17日、出前講座は3月23日。この出前講座っていうのは中身、ちょっとどういうものをやるのか教えてもらいたい。

藤田事務局長

議会活動とはどういうことかっていうのを、うちのほうでパワーポイントの資料が出前講座用の資料を作っております、そのパワーポイントの資料を映しながら、ちょっと委員長のほうに説明していただくというような形なんです。だから、説明概要としてはパワーポイントを見ながら、説明していくってということなんです。

(植村委員「議会の仕組みから始まって」の声あり)

高橋秀明委員

パワーポイントっていうその映像か何か。

藤田事務局長

そうです。すいません専門用語知らなくてあれなんですけど、何か、こういうデータ持ってて、それで1枚ずつ写真みたくいろんなことが書いてて、それを見ながら委員長のほうに説明していただいてるっていう事やってたんで。

高橋秀明委員

29年ときは中学校2年生全員に、出前講座。

藤田事務局長

中学校の授業の中で、50分か何十分かの授業の中で取り組んでいただいたということでございます。

高橋秀明委員

わかりました。

吉原委員長

去年は去年は一昨年とはちょっと違うな。一昨年は2年でやったからな。

藤田事務局長

そうです。

3年生になると、修学旅行があるので、だからちょっと5月っていうのは難しいのかなと

思いますけど。

植村委員

6月は定例議会あるけども、議員の研修会も中止なはずだから、それなら日程空くんじゃない。

藤田事務局長

議会の全体的な日程もありますので、その辺含めた上で学校側と調整させてください。こども議会の件はよろしいですか。

(「はい」の声あり)

吉原委員長

それでは、今年度の意見交換会の開催についてを議題としていきたいと思います。

藤田事務局長

ちょっと1枚、めくってください。

前回の常任委員会のおきも言われたんですけども、意見交換するっていうときに、1番最初の常任委員会で、こういうことをやったらいいんじゃないかっていう意見出たよねっていう委員からの指摘ありましたので、今回それを受けまして、前回にどのような議論をしたかっていうのをちょっと説明させていただきたいと思います。

前々回の情報常任委員会では、そこに書いてあるとおりに、商工会の女性部と農協の女性部との意見交換をしていこうじゃないかと。その中で、どういう中身の話し合いしたらいいんだっていう中の候補として、ヘルパー制度だとか、要は女性休みがないだとか、女性がもっと望んでる制度はないのかだとか、女性の視点で、今、行政でやってるものについては何かそういう要望がないのかとか。あとはそのイベントですとか、特産品に関する意見交換をしたらいいんじゃないかというような意見が出ておりました。

そして、私のほうで、農協と商工会のほうにいろいろ連絡調整してみたところ、農協さんのほうとしては実は2月中は前も説明しましたが、こういうことは一切やりたくないというような意見だったんですけども、2月終わりましたと3月以降はいかがでしょうかということを事務局のほうで確認させていただいたところ、3月以降はいいよというような話をいただいたんで、それを受けて、商工会さんのほうにも、どうでしょうかというような話を確認したところ農協さん良いならいいですよと。ただ、ちょっと何人集められるかわかんないですけどっていうようなお話で、結局、いつでもいいですよっていうようなことになったんですけども、ちょっと今の日程を考えたときに、コロナもまだ緊急事態宣言が出てる中で、無理やりに3月中にやるものなのか、例えば3月が4月や5月になってもいいんじゃないかって、事務局側では思ってるんですけども、今年に関して言えばですね、特殊事情として、コロナ禍の影響があったので、今年は出来ませんでしたっていうことが、十分説明としてはですね、皆さんに納得していただけるんじゃないでしょうか。

ちょっと細かい打合せが出来てない中で、これから日程いつにしてとかっていうのは、この時期になってしまうと、3月中の開催っていうのは、事務局サイドからいうとかなり調整厳しいじゃないかなと思っておりまして、今後、またこういう常任委員会の席を設けて、いつごろがいいんだとか、今年度の開催ではなくて、もうじっくりと中身を話し合った上で準備もした上で、来年度早々の開催に向けて準備を進めてはどうかと、事務局サイドではそういうふうに考えておりますが、委員長、よろしくお願ひいたします。

吉原委員長

来年は5月からすぐやれるようにかい。

藤田議会事務局長

要はですね、何月からするのっていうのは、今後、相手のある話ですから、それは調整するとして、毎年度、住民との意見交換をしていきたいと思いますという、これは先ほどのこども議会と同じように、議員さん主体の事業としてやってたものですから、その辺を事務局の都合で、例えば、令和2年度やらないで、3年度に持ってっていいものか。それとも今年のコロナ禍の状況を考えた上で、ちょっと2年度の部分は延期させてもらって、落ちついた時期にしっかりと日程調整して、中身を検討して、準備をした上で、来年度早々に意見交換をするような日程ではどうかというようなお話をちょっと皆さんでお話し合いをしていただいて。

植村委員

今、局長のほうから説明あった、そのような形で、敢えてもうこの時期ですから、3月の中でやるっていう、そんな無理な調整じゃなくて、令和2年度はコロナ禍の関係で出来なかったと。改めて、令和3年度中に改めて農協の婦人部、商工婦人と打合せをして日程を詰めて、何をどういう形でしていくかも含めて、協議して進めてください。それも、今後、そこら辺の詰めは委員長と局長にまず一任しますんで、どうかよろしくお願いします。

斎賀委員

植村さんの意見でいいです。ゆっくりゆっくりやりましょう。

藤田事務局長

今後、また常任委員会で、中身も検討しながら、私のほうでまた日程調整というか、中身の検討をした後に日程調整したほうがいいと思いますので、ちょっと改めて中身の検討と、日程調整をさせていただくっていうことでよろしいですか。

(「はい」の声あり)

よろしくお願いします。

あとその他の協議事項は特に用意していないんですけれども、皆さんのほうから何かございます。

(「ありません」の声あり)

したら、委員長閉めてもらっていいですか。

吉原委員長

以上で、情報推進常任委員会を閉じたいと思います。

どうもご苦労さまでした。

(17時42分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 吉原哲男

以上、記録する。

主事 満保希来